

「令和元年度 ふるさと寄附金活用事業概要と実績」			
事業名称	決算額(一般財源分) (千円)	事業概要	事業実績
学力向上推進事業 (義務教育課)	3,609	各小・中学校で、魅力ある、質の高い学習指導が展開されるよう支援するとともに、本県の教育施策や学校の授業改善の取組等について、広く意見交換する場を設けることなどを通して、子どもたちの確かな学力の育成を目指します。 特徴的な取組の一つに「理数才能育成プロジェクト」があり、理数系の進路等に夢や希望をもった本県の子どもたちが、科学的思考力、表現力等を伸ばすことができるよう支援しています。	・県内の理数系教科を好きな生徒の裾野の拡大と才能の育成を目指して開催した「科学の甲子園ジュニア秋田県大会」において、参加生徒へのトロフィー、参加賞等の賞品に係る経費の一部として活用しました。 ・本県の子どもたち一人一人の学習状況の把握と、それに基づく学校での指導改善に資する目的で実施した「秋田県学習状況調査」に係る経費の一部として活用しました。
白神山地保全推進事業 (自然保護課)	13,596	日本で初めての世界遺産となった白神山地において、その世界遺産としての価値と素晴らしさを環境教育や自然体験活動等を通じて県民へ伝え、白神山地を将来にわたって守り伝えるための取組を行います。	・白神山地の魅力等を発信するための環境イベント「あきた白神まつり2019」を秋田市において開催し、約5,000名の来場者がありました。 ・白神山地の保全推進の担い手としての白神ガイドを育成するため、「あきた白神認定(県認定)ガイド」資格制度による講習及び試験を実施し、7名の認定ガイドが誕生しました。 ・次代を担う子どもたち(児童)を対象に、白神山地をフィールドとした自然体験教室を実施し、85名(定員80名)の児童へ自然環境保全の重要性等を伝えました。 ・白神山地の価値を保全し、その魅力を発信するツールとしての動画(日本語・英語字幕・中国語(簡体・繁体)字幕)を作成し、県のウェブサイト(ユーチューブチャンネル)で公表したほか、関係機関でも活用されました。
老人福祉施設等環境整備事業 (長寿社会課)	150	高齢者が住み慣れた地域や家庭で安心して生活を送れるようにするとともに、家族の介護負担の軽減を図るため、特別養護老人ホーム等高齢者の心身機能の状態に応じた各種施設を整備する社会福祉法人等の事業主体に対して、整備費用の一部を助成します。	・特別養護老人ホームを整備する社会福祉法人に対して建築費用の一部を助成しました。
商業活性化・まちづくり支援事業 (商業貿易課)	6,374	商店街を核とした中心市街地の魅力あるまちづくりを推進するため、商店街振興組合への指導や商店街の空き店舗活用と起業に向けたトータル支援を行うことにより、商店街の若手人材の育成を図ります。	・商店街の若手人材育成のための講演などの開催を支援したほか、空き店舗を活用した新事業の創出を促進し、振興を図るための取組支援として、ワークショップ等を開催しました。
動物にやさしい秋田PR事業 (生活衛生課)	3,052 (動物愛護センターPR事業分)	動物愛護の新たな拠点となる動物愛護センターのオープンを広く県民に周知し、機運の醸成と県民意識の向上を図り、動物愛護の取組みの広がりを通じて「動物にやさしい秋田」をPRします。	・動物愛護センターのオープンを記念し、「秋田で考える、動物愛護のカタチ」をテーマにトークイベントを開催しました。
あきたびじょんブランド化推進事業 (観光戦略課)	39,567	「あきたびじょん」で表現した秋田の統一的なイメージに基づき、様々な媒体を活用して秋田の魅力を発信することで、更なるイメージの向上を図ります。	・秋田おばこポスターによる各種PR、県ゆかりの人のネットワークを活用した本県の情報発信などにより、秋田ファンの一層の拡大を図りました。
監査委員活動費 (監査委員事務局)	992	県の各機関における財務に関する事務の執行や、県が補助金を交付し、または出資している団体等に係る事業の監査などを実施する経費です。	・監査を実施する経費の一部として活用しました。
ツキノワグマ被害防止活動支援事業 (自然保護課)	879	クマを寄せ付けない地域ぐるみのクマ被害対策を推進するため、クマの出没や被害の多い集落に専門家を派遣し、被害を未然に防ぐための助言・指導を行うことで地域住民が自ら被害対策に取り組めるよう支援します。	・モデル地区として県内計9地区を指定し、専門家によるクマの生態や被害対策を学ぶ勉強会を実施したほか、住民参加のもとでクマ被害の要因を分析する集落環境診断を行いました。 ・住民自らが問題点を洗い出し、刈り払いや緩衝帯整備などにより、集落にクマを寄せ付けないための対策を実施しました。
運動部活動活力アップ支援事業 (保健体育課)	12,342	スポーツ庁の「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」を踏まえ、中学校及び高等学校において運動部活動が適正に行われるとともに、運営や指導方法の一層の向上など活力アップを図ります。	・運動部活動指導員配置事業として、2市に16名を配置しました。 ・秋田型運動部活動サポート事業として、競技力向上支援や高校野球球強化支援を行いました。
AKITA英語コミュニケーション能力強化事業(高校教育課)	128,486	授業改善プロジェクト、教員研修プロジェクト、異文化体験プロジェクト、AKITAグローバルネットワークの4つの事業により児童生徒の英語コミュニケーション能力の強化を図ります。	・授業改善プロジェクト事業において、外国語指導助手(ALT)を県立高校24名、総合教育センター1名、合計25名配置し、英語を「聞く・読む・話す・書く」の4技能の総合的な育成に貢献しました。 ・授業やそれ以外の場面で生きた英語に接することにより、児童生徒の英語への興味、関心、意欲が高まり、積極的にコミュニケーションを図ろうとする姿勢が育まれました。